

令和7年度
河原口排水区230号排水路改修工事
(海老名市河原口三丁目地内)

数 量 調 書

海 老 名 市 ま ち づ く り 部 下 水 道 課

§数量総括表

①工事区分・②工種・③種別・④細別					規 格	単位	数 量		備考
							当初		
①	②	③	④						
管路工									
管きょ工									
管路土工									
管路掘削									
機械掘削工(バックホウ)					BH0.45クレーン機能付	m3	219		
管路埋戻									
機械投入埋戻工(バックホウ)					BH0.45クレーン機能付, RC-40	m3	72		
発生土処理									
ダンプトラック(4t積)運搬					現場→仮置場5km以内	m3	181		
積込(ルース)						m3	181		
土砂等運搬(10t)					仮置場→処分場	m3	181		
発生土処分料					指定A(愛川町田代受入地)	m3	181		
管基礎工									
マットレス基礎									
マットレス工(ボックス部)					H=30cm	m2	171		
マットレス工(矩形人孔部)					H=30cm	m2	12		
水路築造工									
ボックスカルバート									
ボックスカルバート材料費						式	1		
ボックスカルバート設置工						m	38.1		
管理人孔設置工						式	1		
強化プラスチック複合管									
強化プラスチック複合管材料費						式	1		
強化プラスチック複合管布設工					φ 700	m	3.9		
矩形人孔									
矩形人孔材料費						式	1		
矩形人孔設置工						基	1		
巻立コンクリート工-2						箇所	1		
管路土留工									
軽量鋼矢板土留(ボックス部)									
軽量鋼矢板 建込工					掘削深2.0m以下,1段,BH0.45	m	38		
軽量鋼矢板 引抜工					掘削深2.0m以下,1段,BH0.45	m	38		
軽量金属支保工 設置					掘削深2.0m以下,1段,水圧式	m	38		
軽量金属支保工 撤去					掘削深2.0m以下,1段,水圧式	m	38		
軽量鋼矢板賃料					LSP-2型,L=2.0m	式	1		
アルミ腹起し賃料					70～80×115～130×4000	式	1		
水圧サポート賃料					調整幅2600～3100	式	1		

§ 数量総括表

①工事区分・②工種・③種別・④細別					規 格	単 位	数 量		備 考
							当初		
①	②	③	④						
				水圧ポンプ賃料	タンク水量15～19L	式	1		
				軽量鋼矢板土留(矩形人孔部)					
				軽量鋼矢板 建込工	掘削深2.5m以下,1段,BH0.45	m	6		
				軽量鋼矢板 引抜工	掘削深2.5m以下,1段,BH0.45	m	6		
				切梁腹起し設置工		t	1.1		
				切梁腹起し撤去工		t	1.1		
				軽量鋼矢板賃料	LSP-2型,L=2.5m	式	1		
				山留材賃料		t	0.9		
				管路路面覆工					
				覆工(ボックス部)					
				覆工板・覆工板受桁 設置工	BH0.45クレーン機能付	m2	114		
				覆工板・覆工板受桁 撤去工	BH0.45クレーン機能付	m2	114		
				基礎コンクリート設置撤去工(ボックス部)		m	38		
				覆工板賃料		m2	54		
				H形鋼賃料	H200	t	1.7		
				覆工板開閉工(ボックス部)		式	1		
				覆工(矩形人孔部)					
				覆工板・覆工板受桁 設置工	BH0.45クレーン機能付	m2	16		
				覆工板・覆工板受桁 撤去工	BH0.45クレーン機能付	m2	16		
				基礎コンクリート設置撤去工(矩形人孔部)		m	4		
				覆工板賃料		m2	16		
				H形鋼賃料	H300	t	1.1		
				覆工板開閉工(矩形人孔部)		式	1		
				開削水替工					
				開削水替					
				開削水替工		式	1		
				付帯工					
				構造物撤去・復旧工					
				構造物撤去					
				二次製品取壊～処分	機械,4t	m3	1		
				無筋Co取壊～処分	機械,4t	m3	5		
				構造物復旧					
				L型側溝工	一般部	m	14		
				L型側溝工	乗入部	m	16		
				L型街渠柵工①	一般部	箇所	1		
				L型街渠柵工①	乗入部	箇所	2		
				舗装撤去・復旧工					
				舗装 仮復旧					

§ 数量総括表

[illegible]

§ 数量総括表

[illegible]

管きょ工

土工数量

測 点	構造物 中心距離 (m)	掘削			埋戻(RC-40)					
		断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)			
ボックス部										
BNo.5+17.606	0.000	5.13			1.74					
BNo.5+11.500	6.106	5.13	5.13	31.3	1.74	1.74	10.6			
BNo.5	11.505	4.78	4.96	57.1	1.53	1.64	18.9			
BIP.3	3.249	4.66	4.72	15.3	1.42	1.48	4.8			
BNo.4	16.767	4.72	4.69	78.6	1.43	1.43	24.0			
BNo.3+19.338	0.669	4.72	4.72	3.2	1.43	1.43	1.0			
	38.296		小計①	185.5			59.3			
強プラ管部	3.557	1.94		6.9	1.03		3.7			
			小計②	6.9			3.7			
230-1-1矩形人孔部										
覆工部	4.000	2.79		11.2	0.70		2.8			
矢板部	3.450	4.59		15.8	1.96		6.8			
			小計③	27.0			9.6			
		合計①～③		219.4			72.6			

※土工断面は、Asは控除、路盤は含む。

仮復旧数量より

掘削土

路盤材控除

発生土

$$V = 219.4 - 38.06 = 181.3 \text{ m}^3$$

■マットレス工数量(ボックス部)

・ マットレス工 設計面積 $A=171.5\text{ m}^2$ ※2層分

・ セル延長の算出 13 セル×0.289m

1	2	3	4	5(調整)				セル延長
8.670	8.670	8.670	8.670	3.757				38.437 m

・ 設置延長 $L=38.437 - 0.289 / 2 = 38.293\text{ m}$

ボックス延長 設置延長 差
 $38.100 \leq 38.293 + 0.193\text{ m}$ OK

・ 設計面積

規格	幅(m)	設置延長(m)	層数	面積(m ²)	高さ(m)
GN-150MP-4	$A=1.280$	$\times 38.293$	$\times 2$	$= 98.0$	0.3
GN-150MP-3	$A=0.960$	$\times 38.293$	$\times 2$	$= 73.5$	0.3
計				$= 171.5\text{ m}^2$	

■マットレス工 【 171.5 m²当り】数量 ※2層分

・ グラントセル材料

規格	幅(m)	セル延長(m)	層数	面積(m ²)	ロス率	面積(m ²)
GN-150MP-4	$A=1.280$	$\times 38.437$	$\times 2 \Rightarrow$	98.4	1.05	$= 103.3\text{ m}^2$
GN-150MP-3	$A=0.960$	$\times 38.437$	$\times 2 \Rightarrow$	73.8	1.05	$= 77.5\text{ m}^2$

・ 接続材(セルジョイント)

	接合数	BL	調整セル数	列接続数
延長方向	$N=30$	$\times 4$	$+ 13 \Rightarrow$	133 個 $\times 2 = 266$
横断方向	$N=7$	$\times 4$	$\Rightarrow$	28 個 $\times 2 = 56$
計				$= 322$ セット

・ 吸出防止材(長繊維不織布 t=2mm)

算式 (周長 + 横方向ラップ幅m) × (延長方向ラップ幅m × ラップ数 + 設置延長m)

周長: マットレス幅×高さ

$A=(5.080 + 0.500) \times (0.1 \times 20 + 38.293) = 224.8\text{ m}^2$

ロス率は歩掛に含む

マットレス周長 $L=(1.280 + 0.960 + 0.300) \times 2 = 5.080\text{ m}$

ラップ数 $N=38.293 / 1.900 = 20$ 箇所

・ 樹脂アンカーピン(□20×300)

$N=(\text{ラップ数} 20 + \text{起終点ラップ数} 2) \times \text{上下段(本/箇所)} 6 = 132\text{ 本}$

・ 基礎碎石(RC-40) : 12.5cm超え17.5cm以下 $A=171.5\text{ m}^2$ ※2層分 設計面積

■ マットレス工数量(矩形人孔部)

・ マットレス工 設計面積 $A=12.6 \text{ m}^2$ ※2層分

・セル延長の算出 9 セル×0.289m

1(調整)								セル延長
2.601								2.601 m

・ 設置延長 $L = 2.601 - 0.289 / 2 = 2.457 \text{ m}$

矩形人孔延長		設置延長		差		
1.780	≦	2.457	+	0.677	m	OK

・設計面積

規格	幅(m)	設置延長(m)	層数	面積(m2)	高さ(m)
GN-150MP(標準)	A= 2.560	× 2.457	× 2	= 12.6	0.3

計 = 12.6 m²

■マットレス工 【 12.6 m2当り】数量 ※2層分

・グラントセル材料

規格	幅(m)	セル延長(m)	層数	面積(m2)	ロス率	面積(m2)
GN-150MP(標準)	A= 2.560	× 2.601	× 2	⇒ 13.3	1.05	= 14.0 m2

- ・ 接続材(セルジョイント)

	接合数			BL	調整セル数			列接続数							
延長方向	N=	0	×	0	+	0	⇒	0	個	×	0	=	0	無し	
横断方向	N=	0	×	0			⇒	0	個	×	0	=	0	無し	
											計	=	0	セット	無し

- ・吸出防止材(長纖維不織布 t=2mm)

算式 (周長 + 横方向ラップ幅m) × (延長方向ラップ幅m × ラップ数 + 設置延長m)

周長: マットレス幅×高さ

$$A = (5.720 + 0.500) \times (0.1 \times 1 + 2.457) = \boxed{15.9} \text{ m}^2$$

ロス率は歩掛に含む

$$\text{マットレス周長} \quad L = (2.560 + 0.300) \times 2 = 5.720 \text{ m}$$
$$\text{ラップ数} \quad N = \frac{2.457}{1.900} = 1 \text{ 箇所}$$

- ・樹脂アンカーピン(□20×300)

$$N = (\text{ラップ数} \quad 1 \quad + \quad \text{起終点ラップ数} \quad 2 \quad) \times \text{上下段(本/箇所)} \quad 6 = \boxed{18} \text{本}$$

・基礎碎石(RC-40) : 12.5cm超え17.5cm以下

A= 12.6 m2 ※2層分 設計面積

ボックスカルバート数量

工 種	算 定 式	数 量
■ ボックスカルバート材料費	※ボックスカルバート及び基礎床版の数量は、図面参照	1 式
■ ボックスカルバート設置工	$L = 36.090 + 2.005 = 38.10 \text{ m}$	
ボックスカルバート設置工【10m当り】		
ボックスカルバート据付工: 区分② $1.25 < \text{内空幅} B \leq 2.5$ $0 < \text{内空高} H \leq 1.25$	$L = 10.000 = 10.000 \text{ m}$	
基礎床版設置工: $1760 \times 150 \times 2000, 1224\text{kg}$ (標準品)	$N = 10.000 / 2 = 5.000 \text{ 枚}$	
■ 管理人孔設置工	※管理孔構造図参照	1 式
	管理人孔設置 $N = N_{\text{No,3}} + N_{\text{No,4}}$ $N = 2 \text{ 箇所}$	
	人孔鉄蓋(海老名市型): 雨水T-25, $\phi 600$ $N = 2 \text{ 組}$	
	受枠変形防止材: 3セット1組 $N = 2 \text{ 組}$	
	調整金具: 調整高25mmまで $N = 2 \text{ 組}$	
	無収縮モルタル $N = 2 \text{ 袋}$	
	調整リング: 600×100 $N = 2 \text{ 個}$	
	組立1号マンホール斜壁: $600 \times 900 \times 300$ $N = 2 \text{ 個}$	
	ずれ止めコンクリート工 $N = 2 \text{ 箇所}$	
ずれ止めコンクリート工【10箇所当り】		
コンクリート 24-8-BB,W/C指定有	$V = 0.036 \times 10 = 0.360 \text{ m}^3$	
型枠	$A = 0.393 \times 10 = 3.930 \text{ m}^2$	
差筋:D13	$L=50, n=6 = \text{工場手配}$	

強化プラスチック複合管数量

工 種	算 定 式	数 量
■ 強化プラスチック複合管材料費	N= 1 本 C形 雨水3種 φ 700 L=4.0m	1 式
■ 強化プラスチック複合管布設工	L= 3.901 =	3.90 m

矩形人孔数量

工 種	算 定 式		数 量						
■ 矩形人孔材料費	※230-1-1矩形人孔構造図参照		1 式						
矩形人孔【1組当り】	N =		1 組						
	<table><tr><td>頂版ブロックA</td><td>2190kg/基</td><td>N = 1 個</td></tr><tr><td>底版ブロックC</td><td>2790kg/基</td><td>N = 1 個</td></tr></table>	頂版ブロックA	2190kg/基	N = 1 個	底版ブロックC	2790kg/基	N = 1 個		
頂版ブロックA	2190kg/基	N = 1 個							
底版ブロックC	2790kg/基	N = 1 個							
	人孔鉄蓋(海老名市型):雨水T-25, φ 600	N =	1.000 組						
	受枠変形防止材:3セット1組	N =	1.000 組						
	調整金具:調整高25mmまで	N =	1.000 組						
	無収縮モルタル	N =	1.000 袋						
■ 矩形人孔設置工	N= 1	=	1 基						
矩形人孔設置工【1基当り】									
矩形人孔据付	N= 2	=	2.000 個						
鉄蓋据付工	N= 1	=	1.000 個						
基礎床版設置工:1980×150×1980,1212kg	N= 1	=	1.000 枚						
■ 巻立てコンクリート工-2	※巻立てコンクリート-2構造図参照 N= 1		= 1 箇所						
巻立コンクリート-2【10箇所当り】									
コンクリート 24-8-BB,W/C指定有	V= 0.261 × 10	=	2.610 m3						
型枠	A= 1.903 × 10	=	19.030 m2						
鉄筋:D13	W= 4.224 × 10 / 1000	=	0.042 t						
差筋:D13	L=100,n=12+8=20	=	工場手配						

管路土留・覆工数量(ボックス部)

工 種	算 定 式	数 量
■ 軽量鋼矢板土留(ボックス部)		
軽量鋼矢板 建込工	掘削深2.0m以下,1段,BH0.45 L= 38.10 ボックス延長 =	38.10 m
軽量鋼矢板 引抜工	掘削深2.0m以下,1段,BH0.45 L= 38.10 ボックス延長 =	38.10 m
軽量金属支保工 設置	掘削深2.0m以下,1段,水圧式 L= 38.10 ボックス延長 =	38.10 m
軽量金属支保工 撤去	掘削深2.0m以下,1段,水圧式 L= 38.10 ボックス延長 =	38.10 m
仮設材質料	・ 軽量鋼矢板賃料 ※仮設材質料計算書参照 ・ アルミ腹起し賃料 ・ 水圧サポート賃料 ・ 水圧ポンプ賃料	1 式
■ 覆工(ボックス部)		
覆工板・覆工板受桁 設置工	A= 38.10 × 3.00 =	114.3 m2
覆工板・覆工板受桁 撤去工	A= 38.10 × 3.00 =	114.3 m2
基礎コンクリート設置・撤去工	L= 38.10 =	38.10 m
基礎コンクリート設置・撤去工【10m当り】	※仮設土留標準図参照	
コンクリート 18-8-BB,W/C指定無	V= 0.25×0.1×2×10 =	0.500 m3
型枠(均し)	A= 0.1×2×10 =	2.000 m2
基礎碎石 RC-40,t=15cm	A= 0.25×2×10 =	5.000 m2
無筋Co取壊～処分	V= 0.25×0.1×2×10 =	0.500 m3
覆工板賃料	3000×1000×200×208kg/m2 A= 54.0 1ﾌﾞﾛｯｸ当り数量 =	54.0 m2
受桁 H形鋼賃料	H-200×200×8×12×49.9kg/m W= 1.796 1ﾌﾞﾛｯｸ当り数量 =	1.796 t

管路土留・覆工(ボックス部)数量

工 種	算 定 式	数 量
■ 覆工板開閉工	1ブロック当り数量 A= 54.0 m2 × 17 日 =	1 式 918 m2

管路土留・覆工数量(矩形人孔部)

工 種	算 定 式	数 量
■ 軽量鋼矢板土留(矩形人孔部)		
軽量鋼矢板 建込工	掘削深2.5m以下,1段,BH0.45 L= 3.45 + 3.45 =	6.90 m
軽量鋼矢板 引抜工	掘削深2.5m以下,1段,BH0.45 L= 3.45 + 3.45 =	6.90 m
軽量鋼矢板賃料 LSP2型,L=2.5m	W= 6.90 × 2.5 × 2 × 47.2 kg/m2 /1000 =	1 式 1.628 t
切梁腹起し設置・撤去工		
・ 主部材	H-250×250×9×14×80kg/m加工材 W=(3.41 + 2.41) × 2 × 0.080 = 0.931 t	
・ 副部材(A)	W= 0.931 × 0.22 = 0.205 t	
・ 副部材(B)	W= 0.931 × 0.04 = 0.037 t	
	計 = 1.173 t =	1.173 t
山留材賃料	主部材重量 =	0.931 t
■ 覆工(矩形人孔部)		
覆工板・覆工板受桁 設置工	A= 4.00 × 4.00 =	16.0 m2
覆工板・覆工板受桁 撤去工	A= 4.00 × 4.00 =	16.0 m2
基礎コンクリート設置撤去工	L= 4.00 =	4.00 m
基礎コンクリート設置・撤去工【10m当り】	※仮設土留標準図参照	
コンクリート 18-8-BB,W/C指定無	V= 0.30×0.1×2×10 =	0.600 m3
型枠(均し)	A= 0.1×2×10 =	2.000 m2
基礎碎石 RC-40,t=15cm	A= 0.30×2×10 =	6.000 m2
無筋Co取壊～処分	V= 0.3×0.1×2×10 =	0.600 m3
覆工板賃料 鋼製滑止	2000×1000×200×208kg/m2 A= 4.00 × 4.00 = W= 16.0 × 0.208 =	16.0 m2 3.328 t
受桁 H形鋼賃料	H-300×300×10×15×93kg/m 4.00 × 3 × 0.093 =	1.116 t

管路土留・覆工(矩形人孔部)数量

工 種	算 定 式										数 量
■ 覆工板開閉工	開閉日数										1 式
	A=	16.0	m2	×	3	日					= 48 m2
仮設材運搬重量	矢板 主部材 副部材A 覆工板 受桁										
	W=	1.628	+	0.931	+	0.205	+	3.328	+	1.116	= 7.208 t

開削水替え工数量

工 種	算 定 式	数 量
開削水替工	ポンプ据付け撤去 ポンプ運転 ※工程計算参照	1 式 1 現場 10 日

管路土留・覆工(ボックス)数量

工 種	算 定 式										数 量
■ 1ﾌﾞﾛｯｸ当り 仮設材数量											18.0 m
	1ﾌﾞﾛｯｸ当り開削長										
	L= 17.0 + 1.0 =										
	L= 17.0 m ※ﾎﾞｯｸｽカルﾊﾞｰﾄ(単体)標準作業量 青本I-14-④-27										
	L= 1.0 m ※余裕幅:0.5+0.5=1.0m										3.398 t
	軽量鋼矢板										
	LSP2型										
	開削長 矢板長 両側 単位重量										
	W= 18.0 × 2.0 × 2 × 47.2 kg/m2 /1000 =										
	開削長 矢板幅 両側										
	N= 18.0 ÷ 0.25 × 2 =										
	144 枚										
	アルﾒ腹起し										
開削長 長さ 両側 段数											
N= 18.0 ÷ 4.00 × 2 × 1 =											
9 本											
水圧サポート切梁											
開削長 長さ 本/組 段数											
N= 18.0 ÷ 4.00 × 2 × 1 =											
9 本											
覆工板											
3000×1000×200											
開削長 覆工幅 単位重量											
W= 18.0 × 3.0 × 208.0 kg/m2 /1000 =											
11.232 t											
開削長 覆工幅											
A= 18.0 × 3.0 =											
54.0 m2											
覆工板受桁											
H200×200×8×12											
開削長 両側 単位重量											
W= 18.0 × 2 × 49.9 kg/m /1000 =											
1.796 t											
仮設材運搬重量											
矢板 覆工板 受桁											
W= 3.398 + 11.232 + 1.796 =											
16.426 t											

付 帯 工

構造物撤去・復旧工数量

※付帯工平面図参照

工 種	算 定 式	数 量
L型側溝(一般)	L= 15.20 m	
撤去	L= 15.20 - 0.60 × 1 既設控除	= 14.60 m
復旧	L= 15.20 0.70 × 1 新設控除	= 14.50 m
L型側溝(乗入)	L= 17.50 m	
撤去	L= 17.50 - 0.60 × 2 既設控除	= 16.30 m
復旧	L= 17.50 0.70 × 2 新設控除	= 16.10 m
L型街渠枳(一般)		
撤去	N= 1	= 1 箇所
タイプ①復旧	N= 1	= 1 箇所
L型街渠枳(乗入)		
撤去	N= 2	= 2 箇所
タイプ①復旧	N= 2	= 2 箇所

構造物撤去工 数量集計							撤去数量		
							二次製品 (m3)	無筋Co (m3)	スクラップ (t)
L型側溝(一般)									
	延長	単位数量							
	二次製品	V=	14.60	×	0.499	/ 10 =	0.73		
	無筋Co	V=	14.60	×	1.420	/ 10 =		2.07	
L型側溝(乗入)									
	延長	単位数量							
	二次製品	V=	16.30	×	0.190	/ 10 =	0.31		
	無筋Co	V=	16.30	×	1.430	/ 10 =		2.33	
L型街渠柵(一般)									
	箇所	単位数量							
	二次製品	V=	1	×	0.499	/ 10 =	0.05		
	無筋Co	V=	1	×	1.991	/ 10 =		0.20	
	グレーチング	W=	1	×	17.8	/ 1000 =			
L型街渠柵(乗入)									
	箇所	単位数量							
	二次製品	V=	2	×	0.190	/ 10 =	0.04		
	無筋Co	V=	2	×	1.991	/ 10 =		0.40	
	グレーチング	W=	2	×	17.8	/ 1000 =			
	合計						1.13	5.00	0.054

数 量 根 拠

■舗装仮復旧

区分		舗装版切断(As15cm以下)		
		As5cm	As4cm	計(m)
矩形人孔部	車道	16.0		16.0
強プラ管部	車道	8.5		8.5
ボックス部	車道	48.3		80.9
	歩道(一般)		15.1	
	歩道(乗入)	17.5		
計(m)		90.3	15.1	105.4

仮復旧:舗装版切断濁水運搬処分											
濁水密度	1.1	t/m3	幅		t		L		処分量	重量	
As5cm	V=		0.023	×	0.050	×	90.3	=	0.104	m3	
As4cm	V=		0.023	×	0.040	×	15.1	=	0.014	m3	
合計									=	0.118	m3 0.130 t

区分		舗装版破碎(As15cm以下)			As殻処分			路盤材処分			
		As5cm	As4cm	計(m2)	t=5cm	t=4cm	計(m3)	t=35cm	t=10cm	t=20cm	計(m3)
矩形人孔部	車道	16.0		16.0	0.80		0.80	5.60			5.60
強プラ管部	車道	5.0		5.0	0.25		0.25	1.75			1.75
ボックス部	車道	75.9		102.8	3.80		3.80	26.57			26.57
	歩道(一般)		12.4			0.50	0.50		1.24		1.24
	歩道(乗入)	14.5			0.73		0.73			2.90	2.90
計(m2)				123.8	計(m3)		6.08	計(m3)			38.06

区分		舗装仮復旧			
		車道	歩道(一般)	歩道(乗入)	計(m2)
矩形人孔部	車道	16.0			16.0
強プラ管部	車道	5.0			5.0
ボックス部	車道	75.9			75.9
	歩道(一般)		12.4		12.4
	歩道(乗入)			14.5	14.5
計(m2)		96.9	12.4	14.5	123.8

工 種	算 定 式										数 量		
■舗装本復旧											7.8 m		
	舗装版切断(As15cm以下)												
	車道	As5cm	L=	1.79	+	1.88	+	3.14	=	6.8 m			
	歩道(乗入)	As5cm	L=	0.98						= 1.0 m			
									計 = 7.8 m =				
本復旧:舗装版切断濁水運搬処分													
濁水密度 1.1 t/m3		幅	t	L		処分量		重量					
As5cm V=		0.023	×	0.050	×	7.8	=	0.009 m3					
合計 =							0.009 m3	0.010 t					
■ 全体:舗装版切断濁水運搬処分	全体数量										1 式		
			処分量		重量		2t運搬						
	仮復旧		V=	0.118 m3	W=	0.130 t							
	本復旧		V=	0.009 m3	W=	0.010 t							
	計		V=	0.127 m3	W=	0.140 t	1 回						
舗装版破碎(As15cm以下)											141.3 m2		
	車道	As5cm	A=	100.7									
	歩道(一般)	As4cm	A=	23.9									
	歩道(乗入)	As5cm	A=	16.7									
				計=	141.3 m2								
	As殻処分										6.8 m3		
	車道	As5cm	V=	100.7	×	0.05	=	5.0					
	歩道(一般)	As4cm	V=	23.9	×	0.04	=	1.0					
	歩道(乗入)	As5cm	V=	16.7	×	0.05	=	0.8					
								計=	6.8 m3	=			
	車道不陸整正		A=		100.7					=	100.7 m2		
	歩道不陸整正		A=		23.9	+	16.7					=	40.6 m2
	車道舗装		A=		100.7					=	100.7 m2		
	歩道舗装(一般)		A=		23.9					=	23.9 m2		
	歩道舗装(乗入)		A=		16.7					=	16.7 m2		

区画線数量

※付帯工平面図参照

種 別	算 式	数 量
実線・白・15cm 外側線	$L = 36.40 + 2.60 =$	39.00 m
セブラ・白・30cm 停止線	$L = 1.60 =$	1.60 m
セブラ・白・45cm 横断歩道	$L = 4.40 + 3.00 =$	7.40 m
矢印・記号・文字 幅15cm換算 横断歩道予告	$L = 1/2 \times 16.51 \text{ m/箇所} =$	8.26 m
溶融式カラー路面標示(グリーン)	$A = 5.3 \text{ m}^2 \text{ 材工共(25m}^2\text{未満最低保証)}$	1 式

工 設 仮

仮設工数量

工 種	算 定 式	数 量
交通誘導警備員	交通誘導警備員B ※工程計算参照 N=	1 式 100 人日

復旧工 単位数量

復旧工單位數量

[illegible]

復旧工單位數量

[illegible]

L型街渠柵工①			一般部		10箇所当り	
正面図 一般部断面図						
名 称	規 格	…	単位	数 量		
歩車道境界ブロック	180×230×250×600(再生B種両R)	0.700 × 10.000	m	7.000		
L型縁塊	730×80×700	10.000	個	10.000		
グレーチング蓋	T-25,普通,滑止	10.000	枚	10.000		
コンクリート	18-8-BB W/C指定無	0.800 × 0.600 × 0.370 × 10.000	m ³	1.776		
		- 0.500 × 0.300 × 0.370 × 10.000		-0.555		
		(0.150 + 0.140) / 2 × 0.120 × 0.700 × 10.000		0.122		
		計	m ³	1.343		
型枠	小型	(0.800 + 0.600) × 0.370 × 2 × 10.000	m ²	10.360		
		(0.500 + 0.300) × 0.370 × 2 × 10.000		5.920		
		0.120 × 0.700 × 10.000		0.840		
		計	m ²	17.120		

L型街渠柵工①		乗入部	10箇所当り	
正面図 乗入部断面図				
名 称	規 格	…	単位	数 量
歩車道境界ブロック(フラット)	200/205×50/70×600	0.700 × 10.000	m	7.000
L型縁塊	730×80×700	10.000	個	10.000
グレーチング蓋	T-25,普通,滑止	10.000	枚	10.000
コンクリート	18-8-BB W/C指定無	0.800 × 0.600 × 0.370 × 10.000	m ³	1.776
		- 0.500 × 0.300 × 0.370 × 10.000		-0.555
		0.140 × 0.120 × 0.700 × 10.000		0.118
		0.030 × 0.040 × 0.700 × 10.000		0.008
		計	m ³	1.347
型枠	小型	(0.800 + 0.600) × 0.370 × 2 × 10.000	m ²	10.360
		(0.500 + 0.300) × 0.370 × 2 × 10.000		5.920
		0.120 × 0.700 × 10.000		0.840
		計	m ²	17.120

撤去工 单位数量

撤去工單位數量

[illegible]

撤去工单位数量

[illegible]

撤去工單位數量

[illegible]

撤去工單位數量

[illegible]

共通仮設費(積上げ)数量

共通仮設費(積上)数量

工 種		算 定 式		数 量
■ 運搬費 仮設材運搬費				1 式
	往路	仮設材等の運搬(片道)	W=	23.6 t
		仮設材等の積込み取卸し費(片道)	W=	23.6 t
	復路	仮設材等の運搬(片道)	W=	23.6 t
		仮設材等の積込み取卸し費(片道)	W=	23.6 t
	仮設材運搬重量			
	W=	16.426 t	管路土留工(ボックス部)1ブロック当り仮設材数量参照	
	W=	7.208 t	管路土留工(矩形人孔部)仮設材数量参照	
	計=	23.634 t		

共通仮設費(積上)数量

工 種	算 定 式	数 量
■ 事業損失防止施設費 家屋調査費		1 式
①事前調査	工作物、100m2以上～300m2未満 N= ①	N= 1 箇所
②事前調査	工作物、100m2未満 N= ②	N= 1 箇所
平面積 ① 140.50 m2 ② 18.40 m2 × 1 箇所 × 1 箇所 = = 延べ床面積 140.5 m2 18.4 m2 工作物 工作物		

下水道台帳平面図



1/500
 海老名市まちづくり部下水道課
 出力: 令和7年1月30日